

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)西宮市東鳴尾計画	階数	地上6F
建設地	兵庫県西宮市	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、法22条地域	平均居住人員	127人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,640時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年5月 予定	評価の実施日	2022年3月30日
敷地面積	2,613㎡	作成者	大山、浅山、真下
建築面積	824㎡	確認日	2022年3月31日
延床面積	4,290㎡	確認者	池内一史



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

92 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.6

3 設計上の配慮事項		その他
総合 某企業のもつ「多様性」と「結束力」を表出するデザインとする。企業のこれからの担う若い世代に対して、会社の魅力が肌で感じられるような建築を目指す。		0
Q1 室内環境 全住戸2面採光、リビングとバルコニーが南側に面する配置計画とすることで、入居者の居住性に配慮した計画とする。窓ガラスはLow-Eガラスとすることで、断熱性能に配慮した。	Q2 サービス性能 住戸内内装はクロス張りとする事で、メンテナンスに配慮した内装計画としている。	Q3 室外環境(敷地内) 外観に配慮し、外壁には自然の風合いが感じられるせっき質タイルを採用。経年劣化によりタイルに剥落が生じないように、施工方法を有機計系接着剤貼り(Q-CAT認定)としている。
LR1 エネルギー BCP対応の一環として、屋上に10kWの太陽光発電パネルの設置を計画。	LR2 資源・マテリアル 接着剤や内装材に化学物質の含まない材料を選定。内装仕上げ材にグリーン購入法認定材料を採用した。	LR3 敷地外環境 住宅街の為、道路に面する部分に植栽を適宜配置することで周辺環境に配慮した計画とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される